

秋田県内における介護事業所職員の 就業状況及び業務継続性と 心身の健康状況との関連性に関する調査研究

研究代表者	秋田産業保健総合支援センター	産業保健相談員	伏見 雅人
研究分担者	秋田産業保健総合支援センター	産業保健相談員	清水 徹男
	秋田産業保健総合支援センター	産業保健相談員	村田 勝敬
	秋田産業保健総合支援センター	産業保健相談員	工藤 康嗣
	秋田産業保健総合支援センター	産業保健相談員	浅沼 知一
	秋田産業保健総合支援センター	産業保健相談員	関 雅幸
	秋田産業保健総合支援センター	所 長	齊藤 征司

背景

介護従事者の離職率は高く、介護事業所は慢性的な人員不足の状態にある

介護従事者は心身に多くの問題を抱えている

考えられること



必要なこと

介護従事者が自己の健康状況を正しく認識し、セルフケアを実践できること

事業所が職場環境の問題点を把握し、介護従事者に適切な助言・指導や研修等を行うこと

研究目的

秋田県内の介護事業所の職員を対象とする調査により職員の就業状況と心身の健康状況との関連性を明らかにし、今後の産業保健活動に資することを目的とする

今後の産業保健活動

- 介護事業所等への普及・啓発活動
- 研修会での成果の公表
- 学会や研究会等での発表
- 行政施策への提言等の活用 など

調査対象

秋田県内の介護事業所601施設のうち同意の得られた事業所197施設

介護事業所職員2,727名に自記式の質問紙調査票を発送し、回収数は2,404名(回収率88.2%)

このうち、性、年齢、就業形態(正規・非正規)に関し記入漏れのなかった2,346名(男性563名、女性1,783名)が解析対象

他に、県内の3事業所に対する聞き取り調査

調査内容

- 対象者の就労状況(勤務時間、勤務内容、休暇取得状況等)
- 就業期間や転職・離職経験など業務継続性に関する状況
- 身体的及び精神的健康に関する項目(うつ評価尺度、生活習慣病等の既往や罹患状況、健康診断における有所見に関する状況)
- 職場関連のストレス状況(職業性ストレス評価尺度など)

結果と考察

- **非正規職員**

男性 89名 (15.8%)

女性 611名 (34.3%)

- **50歳未満の占める割合**

正規職員 男性 約8割 ・ 女性 約6割

非正規職員 男性 5割弱 ・ 女性 4割強

女性の方が非正規職員の割合が高い

非正規職員の方が高齢者の割合が高い

厚生労働省のデータにおいても、全国の子正規雇用労働者における55歳以上の占める割合は上昇傾向にあり、特に65歳以上において比率が高くなっている

現在の仕事（職種）

職 種	男性（％）			女性（％）		
	総計 (563名)	正規 (474名)	非正規 (89名)	総計 (1783名)	正規 (1172名)	非正規 (611名)
訪問介護員（ホームヘルパー）	3.4	3.0	5.6	11.9	5.6	24.1
介護職員（上記を除く）	61.6	65.6	40.4	52.4	57.3	43.2
サービス提供責任者	1.1	1.1	1.1	1.2	1.5	0.8
看護職員	4.6	5.1	2.2	11.6	11.0	12.6
生活相談員	5.9	6.5	2.2	3.1	4.4	0.8
PT・OT・ST	0.4	0.4	0.0	0.8	1.2	0.0
介護支援専門員（ケアマネジャー）	7.6	8.2	4.5	8.5	10.3	5.1

保有する介護福祉関係の資格（複数回答）

資 格	男性（%）			女性（%）		
	総計 （563名）	正規 （474名）	非正規 （89名）	総計 （1783名）	正規 （1172名）	非正規 （611名）
介護福祉士	49.4	55.5	16.9	47.4	56.4	30.3
介護職員基礎研修	6.9	7.2	5.6	4.3	4.4	4.1
ホームヘルパー1級	1.2	1.5	0.0	4.7	5.3	3.6
ホームヘルパー2級	35.0	34.8	36.0	39.7	35.0	48.8
介護支援専門員	17.8	20.3	4.5	17.0	21.6	8.3
看護師・准看護師	3.9	4.6	0.0	12.8	12.5	13.6
PT・OT・ST	0.4	0.4	0.0	0.8	1.2	0.0
社会福祉士・精神保健福祉士	4.7	5.5	1.1	2.5	3.1	1.5
福祉用具専門相談員	1.4	1.5	1.1	0.7	0.9	0.5
栄養士・管理栄養士	0.2	0.0	1.1	2.4	3.1	1.1
上記以外	11.0	11.6	7.9	6.7	8.2	3.8

平日の睡眠時間

睡眠時間	男性 (%)			女性 (%)		
	総計 (557名)	正規 (470名)	非正規 (87名)	総計 (1766名)	正規 (1164名)	非正規 (602名)
5時間または それ以下	20.2	20.2	20.7	25.4	27.0	22.1
6時間	39.9	41.3	32.2	42.5	41.7	44.2
7時間	30.9	29.8	36.8	26.0	25.3	27.4
8時間または それ以上	9.0	8.7	10.3	6.1	6.0	6.3

仕事に関連した満足度

満足度の内容	男性の“満足”率 (%)			女性の“満足”率 (%)		
	総計 (563名)	正規 (474名)	非正規 (89名)	総計 (1783名)	正規 (1172名)	非正規 (611名)
給料	34.3	32.3	44.9	43.4	41.6	47.0
人事評価	51.3	50.8	53.9	55.6	53.9	58.9
職場の人間関係	60.0	59.5	62.9	63.7	62.6	65.8
職場の環境	54.4	53.6	58.4	56.2	54.6	59.2
職務内容	61.3	61.2	61.8	57.3	55.7	60.4

現在抱えている悩み、不安・不満(複数回答)

悩み、不安・不満の種類	男性 (%)			女性 (%)		
	総計 (563名)	正規 (474名)	非正規 (89名)	総計 (1783名)	正規 (1172名)	非正規 (611名)
職場の人間関係	27.4	28.7	20.2	27.4	29.8	22.9
仕事の量	25.8	27.4	16.9	30.5	34.0	23.6
仕事の質	27.5	28.7	21.3	28.4	32.0	21.4
事業所(会社)の将来性	29.3	31.6	16.9	18.3	22.0	11.1
仕事への適性	17.9	19.6	9.0	16.3	17.7	13.7
雇用の安定性	11.4	10.3	16.9	10.0	8.3	13.4
定年後の仕事・老後の問題	28.4	30.2	19.1	30.5	31.9	27.8
就職・転職	15.8	15.8	15.7	10.0	11.3	7.5
家計・収入	53.9	55.3	42.7	41.4	44.8	34.9
借金・ローン	13.3	13.5	12.4	10.2	11.9	6.9
家庭・家族・親族	15.1	16.5	7.9	20.7	20.7	20.6
友人・知人	1.6	1.7	1.1	1.3	1.5	0.8
結婚・離婚	13.0	13.5	10.1	5.2	6.4	2.9
出産・育児	6.0	7.0	1.1	9.1	10.1	4.8
家事	2.5	2.5	2.2	6.9	7.5	5.7
健康に関する不安	24.5	25.1	21.3	34.0	33.6	34.7
不眠	6.6	6.5	6.7	6.2	6.8	4.9
近所付き合い	1.8	2.1	0.0	1.9	1.9	1.8
生活環境(騒音, 公害など)	0.5	0.4	1.1	1.1	1.2	1.0

結果と考察

正規職員と非正規職員との比較（各項目に占める割合）

職種／訪問介護員を除く介護職員
資格／介護福祉士
資格／介護支援専門員
悩み／家計・収入に関する
悩み／職場の人間関係に関する
悩み／仕事の量に関する
悩み／事業所の将来性に関する

正規 > 非正規

睡眠／平日の睡眠時間7時間
満足／給料に関する

正規 < 非正規

結果と考察

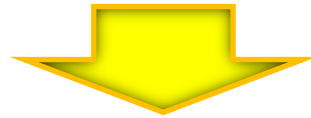
介護福祉士等の資格を有する正規職員であるがために介護職員として働くことが多く、かつ仕事量も多くなる結果、平日の睡眠時間が短縮し、給料に満足している者の割合も非正規職員に比べて低くなった可能性が示唆される

現在抱えている悩み、不安・不満(複数回答)

悩み、不安・不満の種類	男性 (%)			女性 (%)		
	総計 (563名)	正規 (474名)	非正規 (89名)	総計 (1783名)	正規 (1172名)	非正規 (611名)
職場の人間関係	27.4	28.7	20.2	27.4	29.8	22.9
仕事の量	25.8	27.4	16.9	30.5	34.0	23.6
仕事の質	27.5	28.7	21.3	28.4	32.0	21.4
事業所(会社)の将来性	29.3	31.6	16.9	18.3	22.0	11.1
仕事への適性	17.9	19.6	9.0	16.3	17.7	13.7
雇用の安定性	11.4	10.3	16.9	10.0	8.3	13.4
定年後の仕事・老後の問題	28.4	30.2	19.1	30.5	31.9	27.8
就職・転職	15.8	15.8	15.7	10.0	11.3	7.5
家計・収入	53.9	55.3	42.7	41.4	44.8	34.9
借金・ローン	13.3	13.5	12.4	10.2	11.9	6.9
家庭・家族・親族	15.1	16.5	7.9	20.7	20.7	20.6
友人・知人	1.6	1.7	1.1	1.3	1.5	0.8
結婚・離婚	13.0	13.5	10.1	5.2	6.4	2.9
出産・育児	6.0	7.0	1.1	9.1	10.1	4.8
家事	2.5	2.5	2.2	6.9	7.5	5.7
健康に関する不安	24.5	25.1	21.3	34.0	33.6	34.7
不眠	6.6	6.5	6.7	6.2	6.8	4.9
近所付き合い	1.8	2.1	0.0	1.9	1.9	1.8
生活環境(騒音, 公害など)	0.5	0.4	1.1	1.1	1.2	1.0

結果と考察

悩みや不安・不満に関する質問の中では、「家計・収入」と回答した者が最も多く、また正規職員の方が高かった



介護現場の抱える本質的な問題であることが推察される

但し、今回の結果では抑うつ症状や職場関連ストレスと“給料に関する満足度”との間に(非正規職員を対象とした場合を除き)有意な関係は認められなかった

結果と考察

「家計・収入」に関し悩み・不安等を有する者の割合

自身が生計維持者	男性53.2%	女性50.9%
自身が生計維持者以外	男性54.2%	女性36.7%



男性と女性では傾向が異なっており、女性では自身が生計維持者である方が、より切実な問題と受け止めていた

自身が生計維持者の割合 男性61.6% 女性33.8%

現在の仕事に就く直前の仕事を辞めた理由（複数回答）

仕事を辞めた理由	男性（%）			女性（%）		
	総計 （563名）	正規 （474名）	非正規 （89名）	総計 （1783名）	正規 （1172名）	非正規 （611名）
人員整理/勸奨退職/法人解散/事業不振等	14.4	13.7	18.0	10.8	10.2	11.9
収入が少なかった	12.4	12.7	11.2	13.2	13.7	12.1
他に良い仕事・職場があった	9.4	9.9	6.7	10.9	13.0	6.9
定年・雇用契約の満了	6.2	2.7	24.7	6.3	4.0	10.6
自分の将来の見込みが立たない	16.9	17.9	11.2	11.0	12.2	8.8
自分に向かない仕事だった	8.9	9.5	5.6	5.2	4.8	6.1
職場の人間関係に問題	11.4	12.0	7.9	11.2	10.8	11.8
結婚・出産・妊娠・育児	2.3	2.3	2.2	16.0	13.7	20.5
事業所の理念や運営のあり方に不満	9.6	10.3	5.6	8.6	9.0	7.9
病気・高齢	1.1	0.8	2.2	2.5	2.0	3.4
家族の転職・転勤又は事業所の移転	1.8	1.7	2.2	2.9	3.0	2.8
家族の介護・看護	2.1	2.5	0.0	6.1	4.3	9.7

結果と考察

**「社会が介護業界を本当に必要としているのか」
「介護業界で働く人を支えられる賃金であるのか」
という問題を提起しているのか……**

**但し、直前の仕事を辞めた一番目の理由は男性・女性
ともに、「低収入」ではなかった**

結果と考察

うつ状態評価尺度における高得点者の割合

男性	正規職員	40.0%	非正規職員	36.0%
女性	正規職員	41.0%	非正規職員	31.6%

高得点者：CES-D得点 \geq 16

男性・女性ともに正規職員の方が高い割合

但し、統計学的に有意であったのは女性のみであった（男性は対象者数が少なかった）

高い抑うつ状態に関連する要因の解析 — 多重ロジスティック回帰分析の結果

		高い抑うつ状態(CES-D得点16以上)				高い抑うつ状態(CES-D得点16以上)			
		男性		女性		正規		非正規	
		Odds比	95% 信頼区間	Odds比	95% 信頼区間	Odds比	95% 信頼区間	Odds比	95% 信頼区間
性									
年齢		0.985	0.965 - 1.006	0.980	0.969 - 0.991	0.989	0.977 - 1.000	0.967	0.950 - 0.984
婚姻状態									
	未婚	1.677	1.023 - 2.749	1.349	0.973 - 1.869	1.455	1.092 - 1.939	1.930	1.035 - 3.598
	離死別	1.860	0.611 - 5.662	1.468	1.025 - 2.102	1.432	0.974 - 2.105	2.031	1.089 - 3.788
生計維持の当事者		1.030	0.640 - 1.657	1.368	1.025 - 1.825	1.255	0.965 - 1.633	1.043	0.616 - 1.767
現在介護職員*		1.324	0.821 - 2.135	1.137	0.891 - 1.452	1.224	0.942 - 1.590	1.040	0.698 - 1.548
現在管理職		0.994	0.507 - 1.949	0.903	0.578 - 1.412	0.932	0.638 - 1.361	0.397	0.058 - 2.724
現在正規職員		0.608	0.330 - 1.120	1.019	0.786 - 1.320				
介護福祉士の資格有り		0.958	0.602 - 1.526	0.834	0.656 - 1.061	0.864	0.675 - 1.104	0.712	0.456 - 1.113

* 訪問介護員を除く；赤字はP<0.05であったことを指し、Odds比が1以上で正の、1以下で負の有意な関連を表す。

高い抑うつ状態に関連する要因の解析 — 多重ロジスティック回帰分析の結果

		高い抑うつ状態 (CES-D得点16以上)				高い抑うつ状態 (CES-D得点16以上)			
		男性		女性		正規		非正規	
		Odds比	95% 信頼区間	Odds比	95% 信頼区間	Odds比	95% 信頼区間	Odds比	95% 信頼区間
仕事に関する満足感									
	給料に満足	0.900	0.557 - 1.454	0.864	0.663 - 1.126	1.014	0.773 - 1.328	0.610	0.387 - 0.962
	人事評価に満足	0.961	0.567 - 1.628	0.871	0.652 - 1.163	0.812	0.609 - 1.082	1.167	0.686 - 1.983
	職場環境に満足	0.304	0.182 - 0.507	0.753	0.577 - 0.982	0.553	0.422 - 0.723	0.825	0.505 - 1.348
職場指導担当者の存在		1.278	0.816 - 2.001	0.876	0.694 - 1.106	1.052	0.824 - 1.342	0.752	0.509 - 1.110
現在の悩みや不満									
	仕事の量	1.484	0.911 - 2.420	1.021	0.794 - 1.313	1.090	0.845 - 1.407	1.035	0.644 - 1.662
	仕事の質	0.826	0.508 - 1.341	1.077	0.829 - 1.399	1.048	0.807 - 1.359	1.073	0.647 - 1.779
	会社の将来性	0.630	0.378 - 1.051	0.910	0.671 - 1.234	0.785	0.589 - 1.048	1.185	0.643 - 2.185
	家庭・家族・親族	2.143	1.171 - 3.921	2.235	1.699 - 2.939	2.367	1.761 - 3.183	1.831	1.138 - 2.946
	健康不安	1.182	0.710 - 1.968	1.959	1.542 - 2.489	1.799	1.391 - 2.327	1.727	1.151 - 2.594
意思疎通の不十分さ									
	上司	1.223	0.748 - 2.001	1.652	1.276 - 2.139	1.491	1.148 - 1.938	1.910	1.189 - 3.068
	同僚	2.074	1.230 - 3.499	1.820	1.357 - 2.441	1.819	1.346 - 2.458	1.917	1.179 - 3.118
	部下	1.551	0.803 - 2.996	1.635	1.054 - 2.536	1.547	1.058 - 2.261	2.952	0.768 - 11.35
相談相手・窓口なし		3.834	2.182 - 6.739	2.472	1.799 - 3.395	2.378	1.734 - 3.260	4.455	2.483 - 7.992
経験・目撃したハラスメント									
	心理的暴力	1.164	0.687 - 1.972	1.357	1.031 - 1.787	1.463	1.098 - 1.949	0.990	0.615 - 1.596
	ネグレクト(無視)	1.140	0.554 - 2.347	0.918	0.618 - 1.364	0.828	0.555 - 1.236	1.309	0.657 - 2.610
	パワーハラスメント	1.472	0.781 - 2.773	1.227	0.863 - 1.745	1.209	0.852 - 1.714	1.340	0.704 - 2.552

赤字はP<0.05であったことを指し、Odds比が1以上で正の、1以下で負の有意な関連を表す。

高い抑うつとJCQ職業性ストレス評価尺度との関連—多重ロジスティック回帰分析の結果

JCQ職業性ストレス評価尺度	高い抑うつ (CES-D得点16以上)				高い抑うつ (CES-D得点16以上)			
	男性		女性		正規		非正規	
	Odds比	95% 信頼区間	Odds比	95% 信頼区間	Odds比	95% 信頼区間	Odds比	95% 信頼区間
仕事の自己裁量	0.981	0.956 - 1.006	0.978	0.964 - 0.992	0.967	0.953 - 0.982	1.004	0.980 - 1.027
仕事の要求度	1.064	1.021 - 1.109	1.010	0.987 - 1.033	1.030	1.005 - 1.055	1.011	0.975 - 1.048
上司の支援	1.026	0.944 - 1.114	0.950	0.905 - 0.997	0.956	0.912 - 1.002	1.007	0.921 - 1.102
同僚の支援	0.868	0.783 - 0.963	0.874	0.819 - 0.934	0.869	0.814 - 0.928	0.876	0.785 - 0.976

交絡因子は性、年齢、婚姻状態、生計維持者、介護職、管理職、正規/非正規職員、介護福祉士資格、給料の満足度、家庭内ストレス、健康不安、相談相手・窓口の有無であり、性別解析の場合および正規/非正規職員別の場合には当該変数を外した。

結果と考察

うつ状態評価尺度における高得点への影響因子

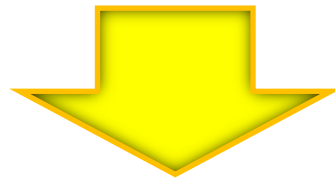
- 若年者、未婚状態、生計維持者、家庭の悩み
- 仕事の自己裁量、上司・同僚の支援のなさ

などであった

高得点者：CES-D得点 ≥ 16

結果と考察

介護職員の抱える問題として、日々の過酷労働と低賃金（給料に対する不安・不満）がその根底にあると思われる



その結果生じる？

職場における人間関係の問題（意思疎通の不良）が、
上司・同僚の支援を差し出す気力を低下させている可
能性が示唆される

結果と考察

職場の人間関係を良好にすることができるか否か



事業所(管理者)の認識や従業員の言動が大きな影響を及ぼすと考えられる



職場において、改善させる余地があると思われる

家庭の問題を職場において解決することは難しい
低賃金に対しては国の介護福祉施策が重要か

結果と考察

**職場における心の健康を保つためには、
職場内の人間関係を良くすることが重要**

- **個々の事業所において人材育成の視点から
教育・研修に力を注ぐことが必要**
- **(特に若い職員に対し)採用後の一定期間に
指導担当者を定め、適切な助言・指導がで
きる体制を構築しておくことが必要**